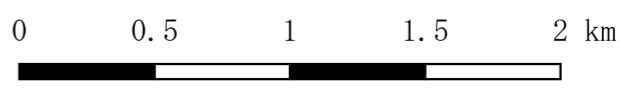


1. この情報は、国土地理院が7月11日に撮影した空中写真から、平成30年7月豪雨で生じたと考えられる崩壊地等を判読したものです。現地踏査は実施していないことから、実際に崩壊等のあった箇所でも表示できていない場合や、平成30年7月豪雨による崩壊地以外の箇所を表示している場合があります。

2. 崩壊地等は、崩壊地や土石流で生じた地形変化発生箇所の始点から到達地点を表現しています。崩壊地等は、長さがおおむね50m以上のものを表しています。確認できた地形変化発生箇所の始点付近を丸で表しており、地形変化範囲を線で表現しています。

3. 崩壊地等の位置を把握するための資料で、人家等に被害の無い箇所も表示しています。



<b>崩壊地等</b> 地形変化発生箇所の始点	<b>雲による未判読範囲</b>	<b>判読範囲</b>
地形変化範囲		